

事業所名

放課後等デイサービスにーに

支援プログラム

作成日

8年

3月

6日

法人（事業所）理念		一日楽しく有意義な時間を過ごす							
支援方針		子どもたちの発達段階を見極め、集団活動や単独遊びを提供し、また異年齢等との関わりの中で社会経験や多くの失敗・成功体験を通じて、楽しみや「困った」に寄り添い解決策を共に考えながら社会スキルの向上ができるよう支援します。子どもたちが家族以外の人たちの中でも自立を目指しながら楽しく生活できるように支援します。保護者に子どもたちの変化や発達の見通しを共有し、寄り添いながら多くの可能性を見つけれられるよう支援を行います。							
営業時間		(開校日)	13時	0分から	18時	0分まで	送迎実施の有無	○あり	なし
		(休校日)	10時	0分から	18時	0分まで	送迎実施の有無	○あり	なし
支 援 内 容									
健康・生活 運動・感覚 認知・行動 言語 コミュニケーション 人間関係 社会性	個々に合わせた(定時・促し方法の工夫)トレーニングをする。ADLトレーニングを経てIADL向上を目指す。また、年齢に合わせた羞恥心等を知らせる。音楽を通し季節の歌や行事の歌を知る。音楽を聴き身体を動かしたり自由に踊ったりと周りの友だちと一体感を感じながら共に取り組む楽しさを知る。身の回りの簡単な掃除から取り組み、雑巾・掃除機等の使い方を学ぶ。活動前にはどのような準備等が必要か、どの様な危険性や注意点があるかを話し合い危険予知力向上にもつなげていく。活動内容に幅を持たせ個々に選択する喜びと、自己の希望や要望を伝えやすい環境整備に務める。								
	困った時にはどの様に伝えるか等を体験していく。成長に合わせた身体の動かし方を覚える。複数の遊びを組み合わせることで、同時にルールや身体の動かし方を処理しながら動作をする。また、周囲を見ながら動くことで視野拡大やコミュニケーションを取りながら他者との関わり方を体験する。遊びが始まる前に子どもたちで遊びのルールを決めていく。お友だちとの会話や声の掛け方を学び話し合いという場にも慣れるようにする。年齢・身体状況に応じたハンディに対しても共に遊べる方法を助言し一緒に遊べる方法を考える。負けた時の切り替え手段や、再度やりたいと思える気持ちを引き出す。何かに触れ「硬さ」「温度」等の感覚を楽しみながら感じ取る(不得手な場合は配慮)。形を作ることでイメージや見通しを相手に伝えられるような工夫や伝えやすい方法を見出し覚えていく。								
	共通のルールで遊び、遊びの中での役割を感じる。集団で遊びやすくなる方法を考え提案する。勝ち負けの判断基準や公平性を感じながら相手を思いやる気持ち・自己の気持ちのコントロール方法を育む。生活スキル(掃除・洗濯等)の向上を目的と外部環境・多場面でのイメージを広げる。社会ルール(お金やチケット等の使い方)を体験し身に付けていく。								
	学校からの宿題を共に取り組む。また、自主学習で得手・不得手を把握し学習に対しての意欲向上を目指す。「書く」「消す」「直す」(特に直す)に対しての嫌悪感を取り除き、困った時にはどの様に伝えるか等を体験していく。成長に合わせた身体の動かし方を覚える。複数の遊びを組み合わせることで、同時にルールや身体の動かし方を処理しながら動作をする。また、周囲を見ながら動くことで視野拡大やコミュニケーションを取りながら他者との関わり方を体験する。								
	遊びが始まる前に子どもたちで遊びのルールを決めていく。お友だちとの会話や声の掛け方を学び話し合いという場にも慣れるようにする。年齢・身体状況に応じたハンディに対しても共に遊べる方法を助言し一緒に遊べる方法を考える。負けた時の切り替え手段や、再度やりたいと思える気持ちを引き出す。行事に限らず空間からも季節を感じてもらい、四季理解につなげる。ただ行事を楽しんでもらうのではなく、個々に役割を持ち共に協力することで達成感を体験していく。								
家族支援		三者(ご家族・学校・事業所等)共通連絡帳を使用し、常時情報交換を行い各所での取り組みや過ごし方を相互に理解することで支援に対し方向性の歩幅を合わせることを目的としています。ご家族(保護者・家族)のレスパイトを目的とした預かりニーズ(入浴含む)や必要に応じての支援実施。ご家族が発信しやすい方法・ツールを使用し、適宜相談窓口として環境整備の実施。必要に応じて各所関係機関への情報共有や連携を実施。				移行支援		ライフステージの切り替えや成長段階に合わせた移行がスムーズに行えるよう希望調査等を行い、選択視野を広げられるような情報収集や希望・意向を見据え、安心して次のステージに移行できるようご家族や関係機関等との相談援助を実施。	
地域支援・地域連携		長期的に住み慣れた地域で安心安全な生活を送れるよう学校・他支援事業所・相談支援担当者との連絡調整や連携の実施。地域の自立支援協議会や外部研修等に参加し地域課題の改善・解決に努め、情報収集と連携に努めます。				職員の質の向上		外部研修や事業所内研修を行い各職員のスキルアップや資質の向上を目指します。感染予防・防災・防犯・虐待防止・バアレントトレーニング・事故防止等に対する研修と訓練を定期的に行い安全対策の実施。職員間で日々の支援の中での振り返りや気づきを共有、すり合わせを重ね、支援の改善と向上を目指します。	
主な行事等		季節の行事、制作(花見・夏祭り・ハロウィン・クリスマス等) ※同施設内成人デイサービスとの共同行事や行事のお手伝い、 長期休暇(課外活動、クッキング、買い物体験学習等)、お誕生日お祝い(適宜)							